

平成 22 年度

外 部 評 價 報 告 書

(案)

平成 23 年 月

北広島市外部評価委員会

## 【 目 次】

I はじめに	2
II 外部評価の実施にあたり	3
III 外部評価の結果について	4
1 事務事業評価	4
(1) 事務事業評価の検討	4
(2) 評価対象の選定	4
(3) 評価過程と視点	4
2 事務事業評価結果	6
第1章第1節 3 医療体制の充実	6
第1章第4節 2 社会参加の促進	9
第4章第2節 3 教育内容の充実	11
3 補助金等評価	16
(1) 評価対象の選定	16
(2) 評価の実施時期	16
(3) 評価過程	17
(4) 評価方法	17
4 補助金等評価結果	18
IV 外部評価委員会らの意見・提言	21

### « 資 料 »

- ◆ 委員会の構成
- ◆ 委員会の開催経過

## I はじめに

平成 23 年 月

北広島市外部評価委員会	委員長	村川亘
	副委員長	澤井将美
	委員	天羽浩
	委員	神沼幸子
	委員	小松直之

## Ⅱ 外部評価の実施にあたり

北広島市外部評価委員会は、市民や行政外部の視点に基づき政策評価（事務事業）及び補助金等の評価を行うことにより、政策評価の客観性及び補助金等の透明性を確保し、効率的な行財政運営を推進することを目的に、平成19年6月14日に設置され、平成21年12月には条例が制定され、本年4月からは条例に基づき設置されている。

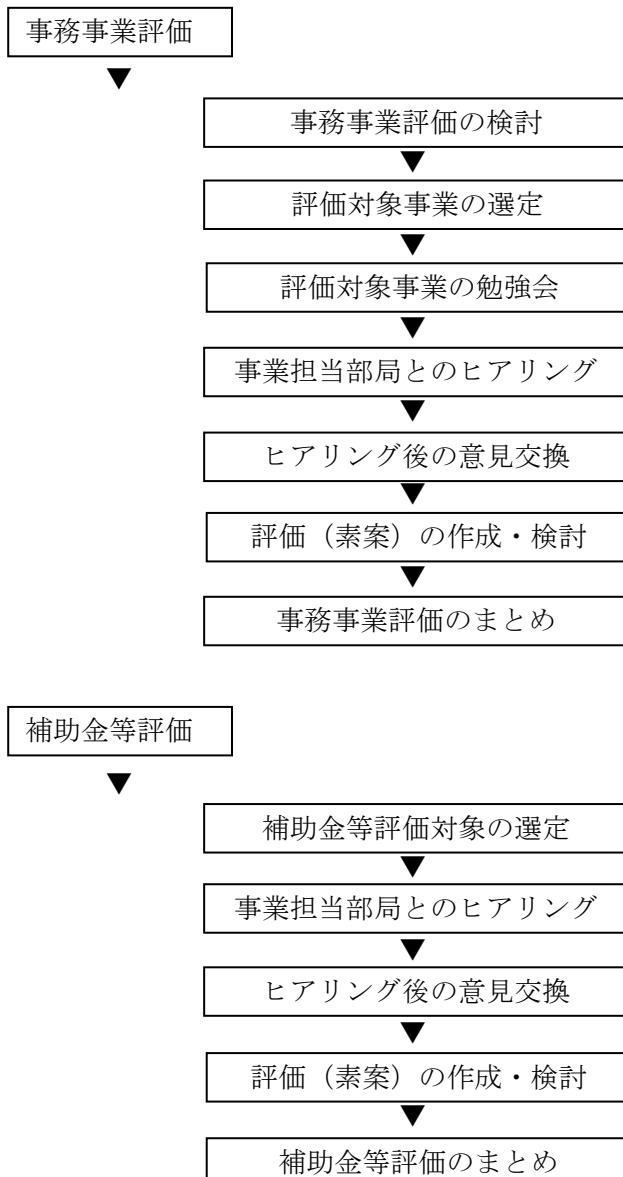
### 《委員会の役割》

- 事務事業評価 ~ 事務事業に係る評価、評価制度への提言等  
補助金等評価 ~ 補助金等（公募型補助金を含む）に係る評価、補助制度への提言等

### 《委員会の構成》

委員会は、学識経験者委員4名・公募委員1名の計5名で構成

### 《外部評価の流れ》



### Ⅲ 外部評価の結果について

#### 1 事務偉業評価

##### (1) 事務事業評価の目的

地方自治体を取り巻く環境は、今後も厳しい社会経済状況が続き、また、地域主権改革の進展などにより、多岐にわたる分野で市の行政サービスへのニーズの高まりが予想され、限られた財源の中で、市としてどのような事業を進めていくか、事業の「選択と集中」が求められている。

政策評価は、事務事業の効果や効率など一定の基準に基づき、事業の優劣を判断し、政策選択に合理性を与えるとするものである。

今年度については、施策単位を構成する事務事業の評価とともに、施策の中での優先度についても検討した。

##### (2) 評価対象の選定

評価に当たりすべての事務事業を対象とすることは、時間的な制約もあり、昨年度までは、委員会で定めた基準に基づき約15事業について評価を行ってきました。

本年度は、昨年度の委員会の提言に盛られている評価事業数の増加という観点から検討を行い、総合計画の施策体系から選評価対象事業を選択することとし、最終的に、平成21年度に実施した施策・事業体系の中から3施策41事業について評価を行った。

##### 《施策を単位とした評価対象》

施 策 名	構成事業数	担当部課等名	
医療体制の充実	11	市民環境部	市 民 課
		保健福祉部	健康推進課
社会参加の促進	8	保健福祉部	福 祉 課
教育内容の充実	22	教 育 部	教育総務課
		教 育 部	学校教育課

##### (3) 評価過程と視点

##### 《評価過程》

外部評価委員会では、市が行った自己評価の評価調書及び説明資料に基づき、6月から8月にかけて勉強会を4回開催し、各施策の構成事業についての事業内容等を調査したうえで、各担当部局とのヒアリングを実施した。

その後、委員間での意見交換・協議を行い、外部評価委員会として合議により評価結果をまとめた。

##### 《評価の視点》

事務事業担当部局による自己評価と同様に、妥当性、有効性、効率性、公平性について下記の視点に基づく評価を行い、施策実現に向けた優先度についても検討を行った。

### 【妥当性】

- ・市民や社会の要求に合致しているか。
- ・上位施策を達成するために必要な事務事業か。（目的妥当性の度合）
- ・行政が関与しなければならない事務事業か。（公共性・公益性の度合）

### 【有効性】

- ・成果指標から見て、目標の達成度はどの程度か。（達成度合）
- ・目的を達成するための手段（実施方法）は有効か。（手段有効度合）

### 【効率性】

- ・投入した予算や人員に見合った効果が得られているか。（費用対効果の度合）
- ・効率的な方法で実施しているか。（同じ経費でもっと効率的な方法はないか。）

### 【公平性】

- ・受益者負担は適正か。
- ・当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか。

### 【施策に対する優先度の判定】

施策の中でどのような役割を果たし、どの程度必要で有効かといった観点から事務事業についてランク付けを行った。

- ① 経営資源を重点配分する事業
- ② 経営資源を前年度並みに配分するが、優先度の高い事業
- ③ 経営資源を前年度並みに配分する事業
- ④ 経営資源を減配分する事業

## 2 事務事業評価結果

施 策 名	3 医療体制の充実	施策体系	第1章第1節
第3次実施計画に計上されている事業内容 (平成20年2月策定)			
<p>○緊急医療体制については、夜間急病センターと在宅当番医制により、歯科の休日医療体制については、千歳歯科医師会と共同で実施します。</p> <p>○乳幼児、重度心身障害者などの医療に係る経済的負担を軽減するため、医療費の助成を行います。</p> <p>○乳幼児医療費助成の拡大に伴い、小学校就学前の乳幼児医療費を初診時一部負担金を除き無料化します。</p> <p>○高齢者の医療の確保に関する法律により、国民健康保険の40歳以上の加入者の方々に対し、特定健診・特定保健指導を実施し、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)該当者及び予備軍の発見と予防改善に努め、被保険者の医療費の抑制と健康の推進に向けて取組んでまいります。</p> <p>○北海道後期高齢者医療広域連合と連携しながら、後期高齢者に対し、健康診査を実施し、健康の保持増進に努めます。</p>			
平成21年度に実施された事務事業			
事務事業名	重度心身障がい者医療費助成事業	担当課名	市民環境部 市民課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
制度の趣旨を生かし、対象者の保健・福祉の向上に役立っている。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)
事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業	担当課名	市民環境部 市民課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
制度の趣旨を生かし、対象者の保健・福祉の向上に役立っている。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)
事務事業名	乳幼児医療費助成事業	担当課名	市民環境部 市民課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
道との共同事業に本市独自の上乗せ策も盛り込み、子どもを大切にする北広島として胸を張れる制度である。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)
事務事業名	通院交通費助成事業	担当課名	市民環境部 市民課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
本市独自の福祉対策の1つであり、対象者の保健・福祉の向上に役立っている。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)

事務事業名	救急医療啓発普及事業	担当課名	保健福祉部 健康推進課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
<p>救急医療啓発普及は今後も必要な事業と思われる。</p> <p>しかし、記念講演会の演題や研修会のテーマが必ずしも「救急医療」に関する内容になっていない。また、道の実施要領にある「AEDの普及啓発」も当該事業では行われていない。</p> <p>実施要領における方針と実際に実行されている事業内容との整合性について再確認が望まれる。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(3)
事務事業名	在宅当番医制事業	担当課名	保健福祉部 健康推進課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
<p>救急医療体制の確立のために必要な事業である。事業費の主要な部分を占める人件費単価(ex.平日 22,240 円)の算定根拠について透明性の確保が望まれる。</p> <p>また、平日の朝の時間帯など利用状況を検証し、在宅当番医の時間等についての見直しが必要である。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(3)
事務事業名	歯科休日等在宅当番医制事業	担当課名	保健福祉部 健康推進課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
<p>千歳市及び恵庭市との3市共同で実施している事業であり、歯の緊急の治療に対応するため、必要な事業である。ただし、年間の受診者数はわずか47名(北広島市民)であり、受診1回あたりコストは9千円近くになっている。</p> <p>将来、受診者数がさらに減少する場合には、有効性、効率性の観点から事業を継続するかどうか検討すべきと考える。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(3)
事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	担当課名	保健福祉部 健康推進課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
<p>夜間急病センターは指定管理者制度により運営されており、当該事業はセンター職員及び医師の入件費相当額のみを交付するものである。</p> <p>夜7時から翌朝7時まで年中無休の運営となっており、市民の健康保持に必要な事業である。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)
事務事業名	医療費適正化特別対策事業費	担当課名	市民環境部 市民課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
<p>国保会計の適正な執行に必要な事業である。レセプト点検の業務委託を予定しているが、委託のメリットを十分發揮できるよう検討が必要である。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(3)

事務事業名	保健衛生普及事業	担当課名	市民環境部 市民課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
保健活動パンフレットの作成が購入であれば、維持管理費での対応が可能ではないのか。 <u>事業としての</u> 効果・効率が不明である。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(3)
事務事業名	特定健康診査・特定保健指導事業	担当課名	市民環境部 市民課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
医療費の抑制と健康推進に <u>とって</u> 効果的な事業である <u>が</u> 、受診率が25%であることから、積極的に受診率の向上を目指す必要がある。また、検診結果を有効に生かすための方策も <u>検討</u> する必要がある。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)

施 策 名	2 社会参加の促進	施策体系	第1章 第4節
第3次実施計画に計上されている事業内容 (平成20年2月策定)			
<p>○障害者の活動範囲を広げ社会参加を促進するため、タクシーチケットまたはガソリンチケットを選択して利用できる福祉タクシー助成事業を実施します。</p> <p>○障害者の日中活動の場を確保するため、捜索活動や生産活動を行う地域活動支援センターへの補助します。</p> <p>○音声コードによる広報など、視覚障害者への情報提供を充実します。</p>			
平成21年度に実施された事務事業			
事務事業名	精神保健福祉推進事業	担当課名	保健福祉部 福祉課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>必要不可欠な事業である。</p> <p>平成22年度からは運営業務をNPO法人に委託している。民間委託は効率性と事業費削減を目的としているが、22年度からの国と道の支出金の減少により一般財源の持ち出しはむしろ増えており、「地域活動支援センター事業」との統合も視野にいれるべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)
事務事業名	コミュニケーション支援事業	担当課名	保健福祉部 福祉課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>障がい者にとって地域生活を送るために必要不可欠な事業である。</p> <p>多種多様なニーズに対応するため派遣者養成講座等への取り組みは評価出来る。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)
事務事業名	自動車運転免許・改造助成事業	担当課名	保健福祉部 福祉課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>意義のある事業である。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)
事務事業名	地域活動支援センター事業	担当課名	保健福祉部 福祉課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>障がい者が自立するために必要不可欠な事業である。</p> <p>歴史的経過は理解するとしても、身体・精神障がい者の自立を支援する意味合いから、両事業の統合も視野に入るべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
		優先度	(2)

事務事業名	障害者等交通費助成事業	担当課名	保健福祉部 福祉課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>ひきこもりがちな障がい者の社会参加や外出を促す手段として有効であり、利用者も多く福祉効果の高い事業と評価できる。</p> <p>ただし、対象者の増加に伴い財政負担が過重な状況が生じてきた場合、支給対象者及び支給額<u>等について見直しも必要</u>である。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(3)		
事務事業名	精神障害者社会復帰訓練通所交通費助成事業	担当課名	保健福祉部 福祉課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>交通費助成は、精神障がい者の社会参加や日中活動を行う動機付けにもなり障がい者の自立支援に適った事業である。</p> <p>本事業は、本市独自の自立支援給付事業の一環であるが「障がい者自立支援法」に基づく事業であることを明確にすべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(3)		
事務事業名	心身障がい児・者通所施設運営費補助事業	担当課名	保健福祉部 福祉課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>当該施設への送迎及び運営事業への費用補助は、心身障がい児・者の通所時における安全確保と活動の場の確保に繋がり保護者・家族の介護負担軽減や閉じこもり予防が図られることから必要な事業と認められる。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(3)		
事務事業名	障がい者団体補助事業	担当課名	保健福祉部 福祉課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>昭和 46 年から開始され 40 年になる補助事業<u>である。</u></p> <p>平成 21 年には公募型「公益活動事業補助金」制度が創設されており、事業内容・事業費等から<u>本制度の活用も可能</u>と判断されるので廃止の方向で検討すべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度			

施 策 名	3 教育内容の充実	施策体系	第4章第2節
-------	-----------	------	--------

### 第3次実施計画に計上されている事業内容（平成20年2月策定）

- 地域の人材などを活用し、グループ指導、個別指導を行う授業補助員の配置を拡充します。
- 教員が開発した教材や、市内の教育資源を教材とした資料を体系化するとともに、児童生徒用に副読本を作成します。
- 地域の人材が学校行事や郊外活動、部活動などの支援員として活動する学校支援ボランティア制度を実施します。
- 生徒がしっかりとした職業観や勤労観を身につけ、社会人・職業人として自立していくよう子どもインターフィップ(職場体験)事業の推進、総合的な学習の時間や特色ある学校づくりを推進等に対し支援します。
- 小中学校におけるパソコンについては、パソコン教室及び職員室に配置して、授業への活用を図ります。
- 新JIS規格による児童・生徒用の机・いすの整備を進めます。
- 視聴覚教育を充実するため、学校放送設備の更新します。
- 英語指導助手を活用し、中学校英語教育充実を図るとともに小学校の英語教育の推進に努めます。
- 児童生徒の遠距離通学に係る負担を軽減するため、補助制度を実施します。
- 要保護・準要保護家庭の児童生徒に対し、就学に必要な額用品や給食等の経費を援助します。
- 各学校図書館のネットワークシステムを構築し、学校図書の充実を図ります。
- 次期教育推進基本計画の策定に取り組みます。
- 児童生徒の環境教育を推進します。

### 平成21年度に実施された事務事業

事務事業名	学校支援ボランティア活用事業	担当課名	教育部 学校教育課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
<p>学校運営のサポーターとして地域の人材を活用する事業であるが、<u>市内17</u>小・中学校のうち11校の活動にとどまっている現状から本事業の趣旨について、学校や保護者などに十分理解を得る取組が必要である。</p> <p>事業活動は、ボランティア性の高い「授業補助員活用事業」のほか「小・中学校教育振興補助事業」と類似した活動が窺われるので、これら事業の趣旨をくみ上げ、簡素・合理化して統合をはかる制度設計も検討すべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度		(3)	
事務事業名	授業補助員活用事業	担当課名	教育部 学校教育課
【外部評価委員会の評価意見】		<b>総合判定</b>	
<p>各学校が複数体制で授業を行うことによる教育効果は高いと思われるが、一部活用されていない学校もある。事業の趣旨の徹底を図り有効に活用されることが望まれる。</p> <p>なお、本制度はボランティアの性格が強く「学校支援ボランティア活用事業」や、更には「小・中学校教育振興補助事業」の統合も視野に新たな制度設計も検討すべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度		(2)	

事務事業名	学校図書室整備事業	担当課名	教育部 学校教育課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>蔵書充足率の低い学校については、予算を重点配分して学校図書館標準を早期に充足すべきである。学校図書館システムと学校図書センターが有機的に連携し稼動する体制が整備されてきたので、児童・生徒の図書館利用について、学校間格差を解消するため、図書司書の配置や読書機会の創出など図書室が有効に活用される工夫が望まれる。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		
事務事業名	教師用指導書等整備事業（小・中）	担当課名	教育部 学校教育課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>平成23年度から新学習指導要領の実施に伴ない、予算の前年度比増額はやむをえないが、配布にあたっては従来の配分方法を精査し、必要最小限の冊数にとどめるべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		
事務事業名	要保護・準要保護児童生徒援助事業（小・中）	担当課名	教育部 学校教育課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>小、中学校とも認定者が急増している現状と、国の子ども手当支給を勘案し、認定基準や支給項目を見直すべきである。近隣市の状況も参考にしたい。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		
事務事業名	児童生徒の通学費助成事業（小・中）	担当課名	教育部 学校教育課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>児童生徒の通学時の安全確保のため、遠距離通学者への助成は必要であり、今後も継続すべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		
事務事業名	郷土資料教材化事業（小・中）	担当課名	教育部 学校教育課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>副読本の利用状況を検証し、場合によっては全員配布の副読本よりパソコン利用によるWEB版教材の活用を検討すべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(4)		
事務事業名	英語指導助手招致事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>小学校の時期に異文化に触れるることは児童にとって有効であるが、現状の運用の中でさらに効率性を検討する余地がある。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(3)		

事務事業名	教育用サーバー整備事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
本事業はPCを活用した授業の充実を図るために必要であるが、教育用コンピュータ整備事業と一体の事業であり、統合すべきである。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		
事務事業名	教育用コンピュータ整備事業（小・中）	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
配置されたパソコンが無駄なく運用されているか検証を行い、計画的な機器の更新を行うべきである。 教育用サーバー整備事業とは一体の事業であることから統合を進め、保守管理の全面委託による経費節減をはかるべきである。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(3)		
事務事業名	北広島市校長会補助金事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
事業の効果が不明確であり、事業経費の予算の範囲内での実費支給を視野に入れた見直しが必要である。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(4)		
事務事業名	北広島市教頭会補助金事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
事業の効果が不明確であり、事業経費の予算の範囲内での実費支給を視野に入れた見直しが必要である。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(4)		
事務事業名	北広島市教育研究会補助金事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
各種研究及び研修会への参加人数が延べ4千人を超えており、教職員の資質の向上に有効な事業である。 <u>ただし</u> 、研究活動については評価指標が無く、今後適切な指標設定が望まれる。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		
事務事業名	教育教材整備事業（小・中）	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
理科教育で必要とする教材教具を2年ごとに更新する事業であり、継続すべきである。		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		

事務事業名	小学校教育振興事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>学校の授業に係る備消耗品等の管理的経費であり、今後も経費の節約を図りながら継続すべきである。</p> <p><u>また、</u>事業内容は「中学校教育振興事業」と同様であり、両者を統合しての運営を検討すべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		
事務事業名	小学校教育振興補助事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>諸活動の中には、保護者や関係者の参画によって一層効果が期待できる事業もあるが、中期的には類似の「学校支援ボランティア活用事業」や「授業補助員活用事業」との統合も視野に検討すべきである。</p> <p>当面は、事業内容がほぼ同じ「中学校教育振興補助事業」との統合を進めるべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(3)		
事務事業名	中学校教育振興事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>学校の授業に係る備消耗品等の管理的経費であり、今後も経費の節約を図りながら継続すべきである。</p> <p>事業内容は「小学校教育振興事業」と同様であることから、両者の統合を行うべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(2)		
事務事業名	中学校教育振興補助事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>保護者や関係者の参画によって一層効果が高まる事業もある。この事業の趣旨をより効果的に生かすために「学校支援ボランティア活用事業」や「授業補助員活用事業」との統合を視野に検討すべきである。</p> <p>当面は、ほぼ同じ事業内容の「小学校教育振興補助事業」との統合も行うべきである。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(3)		
事務事業名	中学校体育連盟交付金交付事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
<p>事業の趣旨から、その必要性は高く、今後も継続すべきである。</p> <p>なお、交付金受給母体である北広島市中体連は、21年度監査で指摘された会計処理の改善、経費支給要綱の整備などを急がなければならない。</p>		<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
優先度	(3)		

事務事業名	中学校文化部活動大会出場費助成事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
全道、全国大会出場への参加がここ数年みられないが、事業の趣旨から、その必要性は高く、今後も継続すべきである。			<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
優先度		(3)	
事務事業名	全国・全道中体連大会出場費助成事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
事業の趣旨から、その必要性は高く、今後も継続すべきである。旅費の補助基準は近隣市町村の動向や経済情勢などを勘案するも、現状維持が適当である。ただ、選手強化費の用途はより明確にしたい。			<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
優先度		(3)	
事務事業名	進路指導連絡協議会交付金交付事業	担当課名	教育部 教育総務課
【外部評価委員会の評価意見】		総合判定	
適切な進路指導を行うため、管内の進路指導の情報交換や情報収集の必要性は高く、今後も継続すべきである。			<input type="checkbox"/> 拡大重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
優先度		(3)	

### 3 補助金等評価

#### (1) 評価対象の選定

補助金等評価については、平成20年度に策定された「北広島市補助金等交付基準」に基づき、補助金及び交付金を性質別に区分して、「補助金」と分類されたものをおおむね3年間で評価を行うこととしている。

本年度は、「北広島市補助金等交付基準」を制定して3年目となり、評価対象となる25補助金のうち、下記の9補助金等について評価を行った。

#### ◇ 外部評価実施補助金等（現行補助金等）

現行補助金等名	事業担当部局
① 重度心身障がい者等通院交通費助成金	市民環境部 市民課
② 障がい者等交通費助成金	保健福祉部 福祉課
③ 中学校文化部活動大会出場費助成金	教育部 教育総務課
④ 児童生徒通学費助成金	教育部 学校教育課
⑤ 地域まちづくり推進事業補助金	市民環境部 市民生活課
⑥ コミュニティビジネス創業支援事業補助金	経済部 商業労働課
⑦ シルバー人材センター補助金	経済部 商業労働課
⑧ 消費者協会補助金	経済部 商業労働課
⑨ 生涯学習振興会交付金	教育部 社会教育課

#### (2) 評価過程

当委員会では、担当部局の評価調書及び説明資料に基づき、10月に補助内容を調査し、担当部局に対するヒアリングを実施した。

ヒアリングに際しては、事前に配付された担当部局による評価調書及び事業の概要などの説明資料をもとに、担当部局から説明を受け、次の視点に沿って質疑応答形式で行った。

ヒアリングは、1補助金等20分程度を目途とし、その後に委員間での意見交換、協議を行い委員会としての評価を決定した。

#### (3) 評価方法

公益性、必要性、効果性、適格性の各項目について個別に評価（採点）し、合計点数（40点満点）に対応する見直し区分を基準に今後の方針を決定した。

【採点】 5点・・・大いに認められる 4点・・・認められる  
3点・・・やや認められる 2点・・・あまり認められない  
1点・・・認められない

【配分】 公益性 15点（採点×3） 必要性 10点（5点×2項目）  
効果性 10点（5点×2項目） 適格性 5点

◇ 現行補助金見直し基準

合計点数 (40点満点)	今後の方針	
36点以上	継続	総合的に見て奨励すべきと判断されるもので、活動内容によっては増額も視野に入れながら、補助を継続するもの
30点以上 36点未満	継続	十分な事業効果が認められるもので、活動内容を一層精査のうえ、原則補助を継続するもの
24点以上 30点未満	見直し	一定の事業効果が認められるもので、活動内容を精査のうえ、原則減額を検討するもの
20点以上 24点未満	見直し	事業効果が薄いと判断されるもので、徐々に減額し、今後3年間で原則廃止を検討するもの
20点未満	廃止	補助することが適当ではないと判断されるもので、原則廃止を検討するもの

#### 4 補助金等評価結果

補助金等名	① 重度心身障がい者等通院交通費助成金			担当課名	市民環境部 市民課
総合評価	採点合計 32 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 8点 8点 4点	□継続 ■継続 □見直し □継続 □継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)
評価意見等					
当該者にとっては、必要不可欠で大切な補助であると考える。					
補助金等名	② 障がい者等交通費助成金			担当課名	保健福祉部 福祉課
総合評価	採点合計 33 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 8点 8点 5点	□継続 ■継続 □見直し □継続 □継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)
評価意見等					
障がい者の社会参加や外出を促す手段として有効な支援事業である。 対象とする障がい者の利用も多く、福祉効果が高い事業 <u>であり、</u> 今後も財政状況を考慮しながら継続が望まれる。					
補助金等名	③ 中学校文化部活動大会出場費助成金			担当課名	教育部 教育総務課
総合評価	採点合計 <u>32</u> 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 8点 <u>8</u> 点 4点	□継続 ■継続 □見直し □継続 □継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)
評価意見等					
全道、全国大会出場に向けて士気を高めることに役立っており、ここ数年出場者がいないからといって、助成制度をやめる理由にはならない。補助基準は近隣市町村の動向を注視し常に見直すことが大事である。					
補助金等名	④ 児童生徒通学費助成金			担当課名	教育部 学校教育課
総合評価	採点合計 31 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 8点 7点 4点	□継続 ■継続 □見直し □継続 □継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)
評価意見等					
遠距離通学者対策として必要であり、スクールバスの運行より柔軟で合理的な制度である。					

補助金等名	⑤ 地域まちづくり推進事業補助金				担当課名	市民環境部 市民生活課
総合評価	採点合計 35 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 8点 10点 5点	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)	

#### 評価意見等

二つの事業からなるが、事業の種類により助成方法が異なり、かつ地域住民協働型事業は、行政との役割分担が曖昧である。事業の趣旨は理解できるので、地域住民と行政の夫々が行うまちづくり事業の役割分担を整理し、活動実態に合った事業へ発展的に見直すべきである。

補助金等名	⑥ コミュニティビジネス創業支援事業補助金				担当課名	経済部 商業労働課
総合評価	採点合計 31 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 8点 7点 4点	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)	

#### 評価意見等

創業者が安定して事業を行っていくか不透明であり、支援終了後数年はフォローする必要があると思われる。

場合によっては補助を1年とせず延長する必要もあると考えられ、弾力的な運用も検討すべきである。

補助金等名	⑦ シルバー人材センター補助金				担当課名	経済部 商業労働課
総合評価	採点合計 33 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 8点 8点 5点	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)	

#### 評価意見等

会員数及び受注金額が近年減少ってきており、これに合わせて国から及び市（基本的に国と同額）の補助金額も来年度から減額となっている。会員は60才以上の高齢者であるが、会員のニーズと事業内容が合わなくなってきたことも考えられる。会員数及び受注金額が今後さらに減少するような場合には、事業内容について検討が必要であろう。

補助金等名	⑧ 消費者協会補助金				担当課名	経済部 商業労働課		
総合評価	採点合計 <u>34</u> 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 8点 <u>9</u> 点 5点	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)			
評価意見等								
市民の消費生活の安心・安全の向上を図るために必要な事業である。								
補助金等名	⑨ 生涯学習振興会交付金				担当課名	教育部 社会教育課		
総合評価	採点合計 35 点	公益性 必要性 効果性 適格性	12点 10点 8点 5点	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 継続	(36点以上) (30点以上36点未満) (24点以上30点未満) (20点以上24点未満) (20点未満)			
評価意見等								
高齢化かつ核家族化が進んでいる現在、この補助金事業の意義はより重要である。 ただし、この事業の内容を検討してみると、「地域まちづくり推進事業」とクロスしている面が見受けられる。 “まちづくり”のソフト事業は一本化した方が効率的であり、長期的にみて運営もスムーズにいくのではないだろうか。 そのためにも残りの2地区の振興会づくりは急務であろう。								

#### IV 外部評価委員会からの意見・提言

本年度の外部評価委員会をとおして評価の進め方や気づいた点などについて、委員会の意見・提言としてとりまとめたので、今後の改善や評価制度の充実に活用していただきたい。



<資料>

◆ 委員会の構成

	氏 名	備考
委員長	村川亘	札幌国際大学 非常勤講師
副委員長	澤井将美	学校法人 評議員（内部監査室長）
委員	天羽浩	天羽浩公認会計士事務所 代表
委員	神沼幸子	無職
委員	小松直之	無職（元会社役員）

<資料>

◆ 委員会の開催経過

回	開催日	会議次第
第1回	平成22年5月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱書の交付 ・市長あいさつ ・委員、事務局紹介</li> <li>・外部評価委員会設置要綱の確認 ・委員長選出</li> <li>・副委員長の指名 ・評価の実施方法について</li> <li>・施策評価の実施について ・対象施策及び補助金の選定について</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第2回	平成22年6月30日	<p>勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の評価の進め方について</li> <li>・3施策の事務事業の内容について</li> <li>・今後の委員会日程について</li> </ul>
第3回	平成22年7月13日	<p>勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の内容について</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第4回	平成22年7月26日	<p>勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の内容について</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第5回	平成22年8月10日	<p>勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の内容について</li> <li>・「教育内容の充実」の施策評価について</li> <li>・ヒアリングについて</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第6回	平成22年8月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業ヒアリング(教育内容の充実22事務事業)</li> <li>・「教育内容の充実」の評価検討について</li> <li>・「医療体制の充実」及び「社会参加の促進」のヒアリングについて</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第7回	平成22年9月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業ヒアリング(医療体制の充実11事務事業及び社会参加の促進8事務事業)</li> <li>・「教育内容の充実」の評価検討について</li> <li>・「医療体制の充実」及び「社会参加の促進」の評価について</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第8回	平成22年10月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育内容の充実」、「医療体制の充実」及び「社会参加の促進」の評価検討について</li> <li>・補助金評価について</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第9回	平成22年10月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金等ヒアリング(5補助金)</li> <li>・補助金等評価について</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第10回	平成22年11月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金等評価について</li> <li>・次回の委員会日程について</li> </ul>
第11回	平成22年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業及び補助金等評価のまとめ</li> <li>・評価制度への意見・提言について</li> </ul>
第12回		

北広島市外部評価委員会

平成23年 月

委員会事務局（北広島市 企画財政部）

改革推進課

〒061-1192 北海道北広島市中央4丁目2番地1

TEL : 011-372-3311 FAX : 011-372-3850

E-mail : kaikaku@city.kitahiroshima.lg.jp